

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンドアップ名古屋校		
○保護者評価実施期間	2025/1/20 ～ 2025/3/7		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025/1/20 ～ 2025/3/7		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/20		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員一人に対して子ども二人という少人数体制を活かし、個別支援ならではの細やかな対応ができるため、子どもたちの小さな変化や様子を把握し、それぞれの支援内容に反映することで、一人ひとりに寄り添った支援を行い、安心して通える環境を整えている。 今後は、指導員の専門性向上のための研修機会を増やし、支援の質をさらに高めることが期待されます。また、保護者との連携を強化し、家庭での様子を支援計画に反映することで、より一貫したサポートを提供していくことも重要である。	アンドアップ名古屋校では、指導員一人につき子ども二人までの少人数体制を活かし、子どもたちの小さな変化にも気づきやすい環境を整えている。気づいた変化についてはスタッフ間で共有し、その子に適した支援方法を検討しながら、個別に対応できるプログラムを作成・実施している。 また、教育分野での経験を持つスタッフが在籍しており、学習支援の充実を図るために、それぞれ子ども達に合った教材や効果的な指導方法の導入を積極的に行っています	支援プログラムのバリエーションを増やし、子どもの成長や変化に柔軟に対応できるよう、プログラムの見直しや改善を定期的に行っていく。また、支援内容だけでなく保護者との連携をより強化し、家庭での様子やニーズも支援計画に反映させることが、より一貫したサポートを提供するために重要だと考えています。定期的に保護者とコミュニケーションを取り、家庭との連携を深めることで、子どもにとって最適な支援環境を作り上げていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故や災害時の対応については一定の整備がされているものの、保護者への情報共有が十分に行われていない状況です。緊急時には迅速な対応が求められるため、事業所内での対応はしっかりとしていますが、保護者への連絡手段やタイムリーな情報提供が課題となっています。今後は、保護者との連携を強化し、事故や災害時に迅速かつ的確に情報を共有できる体制を整えることが必要である。	利用開始時に保護者に対して説明を行っているものの、その後の定期的な情報の発信が不足しており、利用開始時には支援内容や注意事項について説明を行っているが、その後の進捗や子どもの状況についてのフォローアップが不十分のため、保護者との情報共有が限定的になってしまう。定期的な情報提供を行うことで、保護者との連携を強化し、より一貫したサポートを提供することが課題解決の鍵となります。	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点として、利用開始時以外にも定期的な情報発信を行い、保護者との情報共有の機会を増やしていくことが挙げられます。具体的には、子どもの成長や支援の進捗について定期的に報告を行い、保護者と継続的にコミュニケーションを取ることで、より一層の信頼関係を築き、支援内容の改善に活かしていきます。